

東京同窓会総会報告

東京同窓会 高 22 回 田二谷 正純

東京同窓会の平成 27 年度総会は、十月三十一日（土曜日）に、西新宿のハイアットリージェンシー東京で開催された。母校からは、同窓会会長の浅見紀夫氏、加藤順一校長、同窓会事務局長の齋藤秀美先生をお迎えし、東京での参加者二百有余名を加え、今年も盛況であった。



総会の開会に先立って、今年も合唱部 OB による青春のころのなつかしい歌声が披露され、会場は一気に同窓会モードに。続く来賓挨拶では、加藤校長より東京同窓会の主要な支援活動である、校外研修と学生部会の運営に対し、母校として引き続き期待するところ大であることを改めて表明していただいた。



和久井東京同窓会会長からは、会活動の概況とともに、初代校長である大槻文彦先生の命日である二月十七日に、墓所のある品川東禅寺を訪れ墓参したことが報告された。



総会審議事項

「会費改定案他」

会の財政に一定の余裕を持たせることで、活動を一層活性化したいとの理由から、現在年額六百円を五年分徴収している会費を年額千円で三年分徴収する増額改定することを提

案、さらに会則の収入項目に寄付を受け入れることを加える改定案を諮り、承認された。合わせて、会計報告、監査報告が承認。また役員選任では幹事二名の改選が承認された。

「会務報告」

年次毎に世話役を置きパイプ役をお願いしているが、総会の担当年次方式の進捗と共に年次を越えた交流が盛んになりつつあり、一層の充実をはかりたい。従来から注力している母校二年生の校外研修支援と在京の大学生を対象とした学生部会運営については、毎回新たな試みに挑戦し、支援の効果をより拡大すべく取り組んでいる。

総会記念講演

昨年は、八嶋博人（ヴァイオリン）、佐藤俊（ピアノ）両氏による記念コンサートを行ったが、今年は高八回の藤原作弥氏（元日本銀行副総裁・時事通信社解説委員長）に、「戦後70年 東北とわたし」というテーマで記念講演をお願いしました。お話は、少年時代を過ごされた満州、そして戦後の引き上げ時のご苦勞、一高時代の新聞部の思い出を挟んで、現在の日本の有様に至る流れをご自身の熱い思いを重ねながら語っていただきました。



総会懇親会

毎年の懇親会の大きな目玉である部活報告、今年はバスケットボール部でした。同部の輝ける歴史と歩みを、多くの資料と写真を交えて愉快にしかも懐かしく紹介していただきました。



来年、平成二十八年度総会は、十月二十九日（土）十一時半より会場は同じハイアットリージェンシー東京に決定しており、同窓会諸氏の多くの参加を期待する。